| Doc. No. | 900057-06 |
|---|---|

yamada

# 取 扱 説 明 書

## オイルバケットポンプ

**STB-50 MODEL No.880134**
**STB-60 MODEL No.880135**
**STB-70 MODEL No.880136**

**880134**
**STB-50**

**880135**
**STB-60**

**880136**
**STB-70**

## ⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用の前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

## － はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく充分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載の弊社営業所までご連絡ください。

## － 使用目的

本機は、レバー式手動ポンプで、ギヤオイル、モーターオイル、マシン油などの各種オイルを給油する機器です。
キャビネット内に多量のオイルを保有でき、コンプレッサーのない屋外等での給油作業に最適なポンプです。
本機は、オイル用に設計されていますので、グリースには使用できません。

## － 警告・注意事項

本機を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。

⚠ **警告：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠ **注意：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。

この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

## － 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

### ⚠ 警告

- ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。引火・爆発の恐れがあります。

- 使用するオイルの種類によっては、発ガン性物質が含まれているものがあります。オイルメーカーの取扱注意事項をよく熟読し、注意して取扱ってください。

### ⚠ 注意

- 本機は、ギヤオイル、モーターオイル、マシン油等の潤滑油用ポンプです。ガソリン、軽油、灯油、その他溶剤の使用はできません。

- ご使用の際、静電気のスパークによって人体がショックを受けることがあります。必ずアース線により、使用環境に従いアースを確実に実施してください。

# 目次

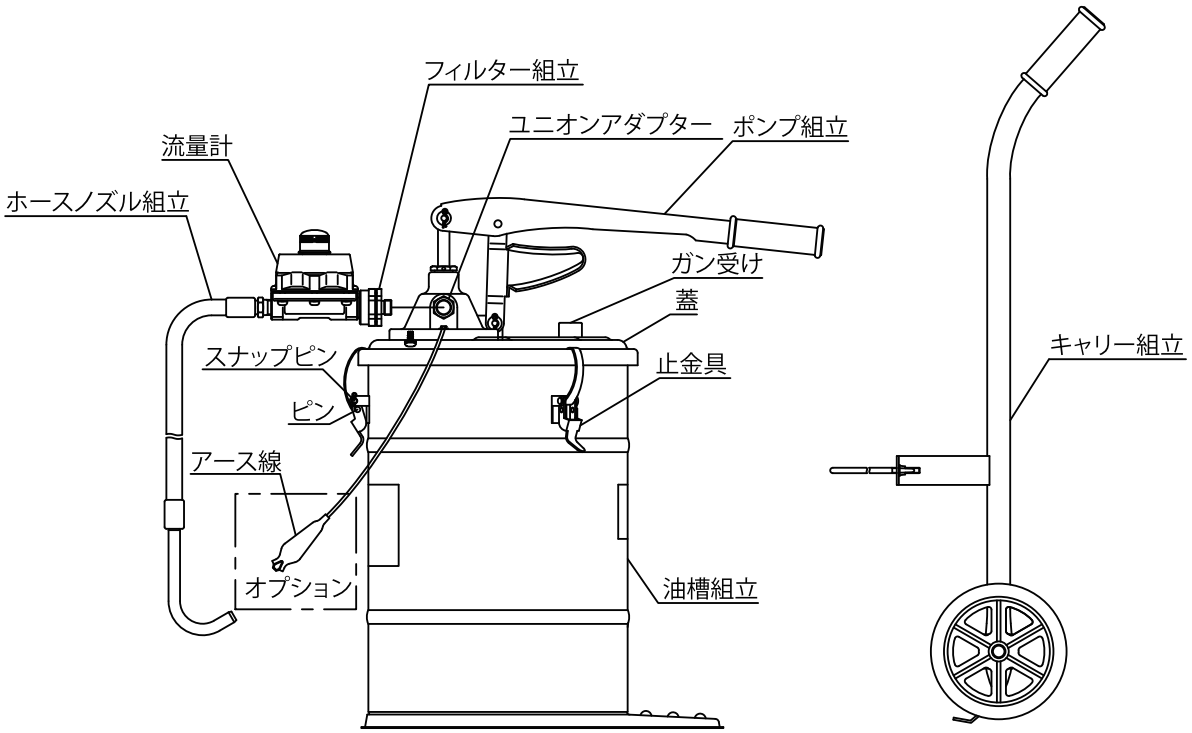

- はじめに
- 使用目的
- 警告･注意事項
- 使用上の注意
- 目次

1. 各部の名称
   - 1.1 各部名称…… 1
   - 1.2 梱包内容…… 1
2. 使用前の準備 …… 2
3. 使用方法…… 2
4. 保守･点検
   - 4.1 故障の点検とその対策 …… 3
   - 4.2 保守･点検 …… 3
   - 4.3 分解･組立 …… 3
5. 部品分解図･パーツリスト
   - 5.1 880134（STB-50）、880135（STB-60）、880136（STB-70）オイルバケットポンプ組立 4
   - 5.2 851110　ポンプ組立…… 4
6. 主要諸元…… 5
7. 不具合内容 FAX シート …… 6
8. 保証規定…… 7

## 1. 各部の名称

### 1.1 各部名称

■880135　STB-60 型




※880134 STB-50 型には、キャリー組立(851003)、流量計(802570)は付いていません。
※880136 STB-70 型には、流量計(802570)、ユニオンアダプター(680109)は付いていません。

### 1.2 梱包内容

本機は、段ボールケースに主機器と付属品が別個に梱包されています。
段ボールケースの上部を開梱し、ポンプ組立・キャビネット・キャリー等の損傷、並びに付属品の有無を確認してください。

## 2. 使用前の準備

**＜装置の組立＞**

1) ポンプ組立のオイルス出口に付属のホースノズル組立を取付け、
スパナで確実に締付けてください。（Fig 1）

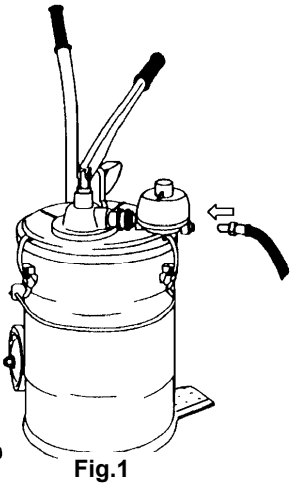


Fig.1

**＜オイルを入れる＞**

2) 油槽上部の止座金（３ケ所）の爪を上にはね上げて外してください。（Fig 2）
3) 蓋をポンプ組立と共に取外してください。

※NOTE
ポンプ組立のサクション部に砂やゴミなどが付かない様、充分注意してください。

4) 油槽内を清潔なウエスなどで拭いてから、ご使用のオイルを移し替えてください。（Fig 3）
あまり沢山入れますと、移動中にこぼれることがありますので、移し替えるオイルの量は油槽の約 2/3 位を目安にしてください。
5) ポンプ組立のサクション部をきれに拭いてから、蓋を元通りにセットし、3 ヶ所の止金具の爪を下方に押し、締付けてください。
この時、ハンドルの位置は、作業のやりやすい位置（踏板を踏んで操作するので）に向けてください。

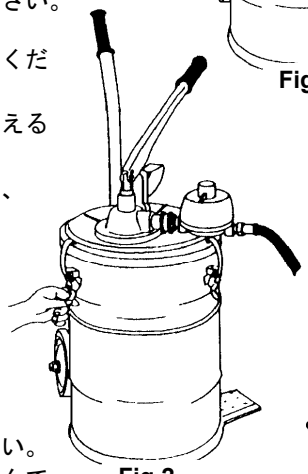


Fig.2

## 3. 使用方法

1) ノズルの先端と、相手の給油口を清潔なウエスなどでよく拭いてください。
2) ノズル先端を給油口に差し、キャビネットが移動しないように踏板を踏んで固定し、ポンプのハンドルを上下にゆっくり操作してください。
オイルがノズルより吐出します。
流量計を使用する(STB-60、STB-70 型)場合は、給油の前にメーターの指針を左(反時計方向)に廻し、“0”に戻してから給油を始めてください。（Fig 4）
3) 給油終了後はハンドルを下にさげ、ノズルを蓋のノズル差込口へ差込んでおいてください

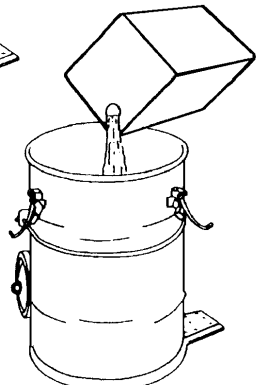


Fig.3

※NOTE
汚れやすいので、常に清掃を心がけてください。

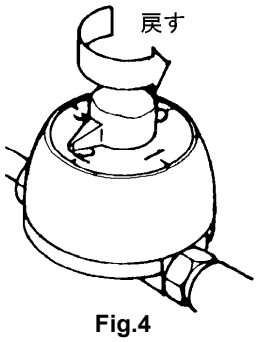



Fig.4

## 4. 保守・点検

### 4.1 故障の点検とその対策

| 状　況 | 原因及び点検 | 対　策 |
|---|---|---|
| ハンドルを操作してもオイルが出ない | オイルが入っているか | オイルの補給・交換 |
| | フートバルブにゴミのつまり | フートバルブの点検・清掃 |
| オイルは出るが流量が不足 | フートバルブにゴミのつまり | フートバルブの点検・清掃 |
| | プランジャーのパッキンの摩耗 | パッキンの交換 |
| | 流量計のフィルターのつまり | フィルターの清掃 |
| グランドの上からオイルが出る | グランドパッキンの摩耗 | 増締め、または新品と交換 |

### 4.2 保守・点検

[点検]
ハンドルの操作が硬くなった場合には、グランドを少し緩め、
油を数滴さしてください。(Fig.5)
ホースは消耗品です。定期的に点検し、キズ・漏れなどがある場合は
早めに交換してください。

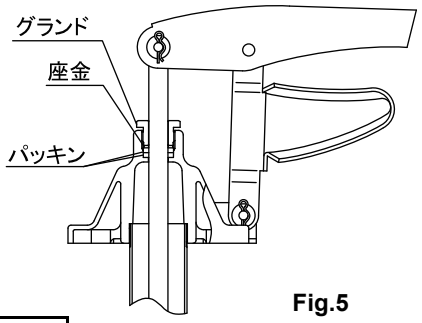


Fig.5

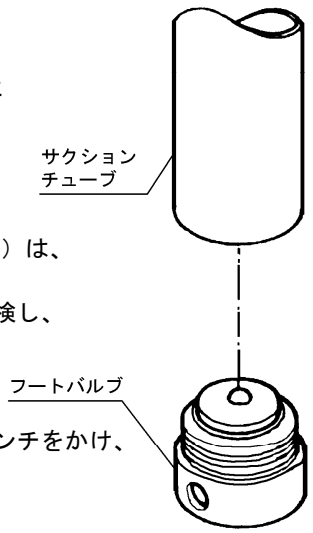
### 4.3 分解・組立

**⚠警告**

- ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。引火・爆発の恐れがあります。

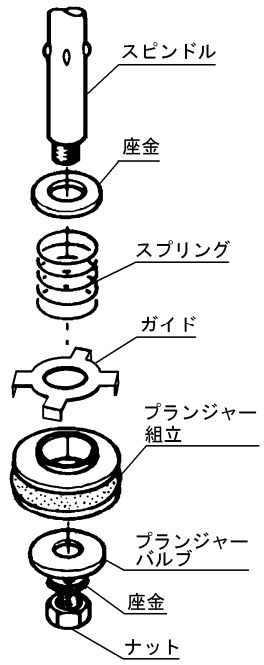
[フートバルブの分解・点検]
1) ホースノズル組立をねじ戻し取外してください。
2) 油槽上部の止金具(3 ヶ所)の爪を上にはね上げて外し、蓋と共にポンプ組立を油槽から取外してください。
3) 蓋裏面の 4 本のボルトをねじ戻し外し、蓋とポンプ組立を分離してください。
4) サクションチューブをバイスに固定してください。
この時、プランジャーが上下する部分（下から約 20ｃｍ位まで）は、バイスにかけないでください。
5) フートバルブをパイプレンチでねじ戻し外し、バルブ部分を点検し、ゴミ等のつまりがあれば清掃してください。(Fig.6)

Fig.6




[プランジャーパッキンの分解・点検]
6) ポンプ本体をバイスに固定し、サクションチューブにパイプレンチをかけ、ねじ戻し外してください。
7) スピンドル先端のナットをねじ戻し外しますと、ばね座金、プランジャーバルブ、プランジャー組立、ガイド、スプリング、座金がスピンドルから分解できます。(Fig.7)
8) プランジャー組立のパッキンや各部品を洗浄・点検し、傷・摩耗などがある場合は新品と交換してください。
また、スピンドルとガイドは対で交換してください。
9) 点検・交換後、部品の向きに注意して元通りに組立ててください。

Fig.7




[フィルター組立の分解・点検]
10) フィルター押えをねじ戻し外しますと、パッキン・フィルター（細目）・フィルター（粗目）が分解できます。(Fig.8)
11) フィルターを点検し、目づまりなどがあれば清掃してください。
12) 組立は、フィルターの順序に注意して組立ててください。

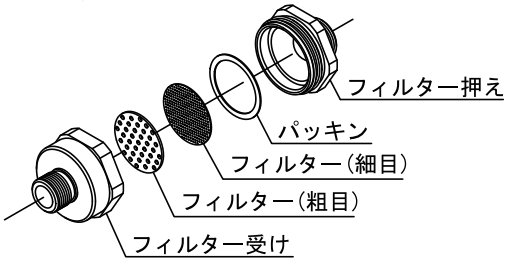
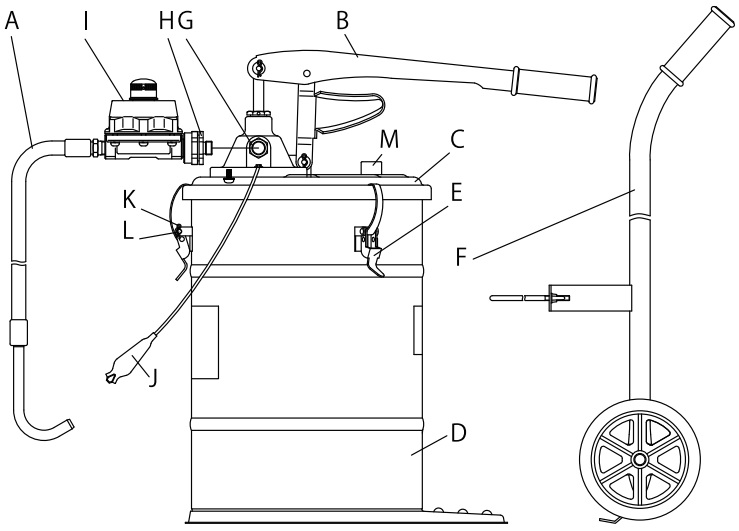


Fig.8

## 5. 部品分解図・パーツリスト

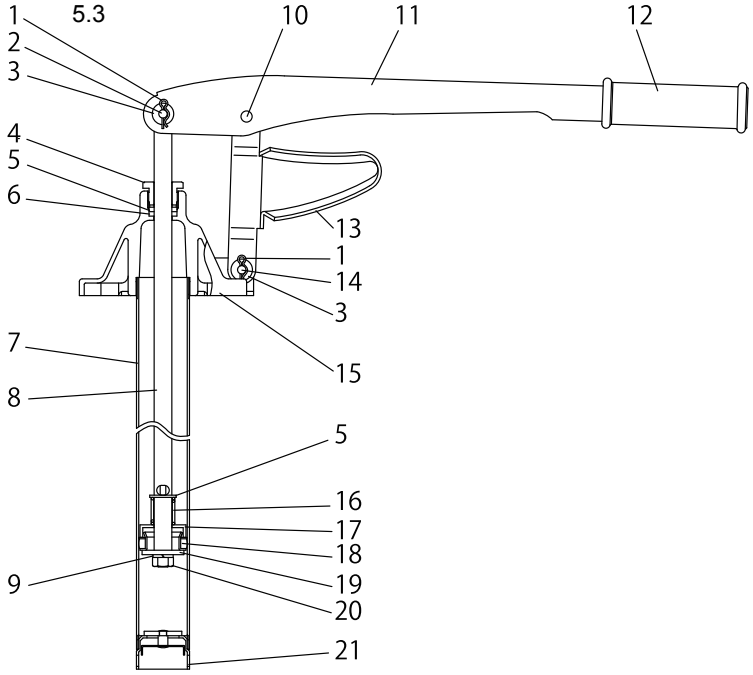
### 5.1 880134(STB-50)、880135(STB-60)、880136(STB-70)　オイルバケットポンプ組立




| No. | 部品名称 | 員数 | 部品番号 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | STB-50 | STB-60 | STB-70 |
| A | ホースノズル組立 | 1 | 695453 | ← | ← |
| B | ポンプ組立 | 1 | 851110 | ← | ← |
| C | 蓋 | 1 | 703181 | ← | ← |
| D | 油槽組立 | 1 | 830270 | ← | ← |
| E | 止座金 | 3 | 830112 | ← | ← |
| F | キャリー組立 | 1 | ― | 851003 | ← |
| G | ユニオンアダプター | 1 | ― | 680109 | ― |
| H | フィルター組立 | 1 | ― | 802538 | ― |
| I | 流量計 | 1 | ― | 800807 | ― |
| J | アース線 | 1 | 681769 | ← | ← |
| K | スナップピン | 3 | 680710 | ← | ← |
| L | ピン | 3 | 701747 | ← | ← |
| M | ガン受け | 1 | 770331 | ← | ← |

※ アース線はオプションとなっています。

### 5.2 851110　ポンプ組立




| No. | 部品番号 | 部品名称 | 員数 |
|---|---|---|---|
| 1 | 680608 | スナップピン | 2 |
| 2 | 703578 | ピン | 1 |
| 3 | 631012 | 平座金 | 2 |
| 4 | 580994 | グランド | 1 |
| 5 | 701755 | 座金 | 2 |
| 6 | 770333 | パッキン | 2 |
| 7 | 708312 | サクションチューブ | 1 |
| 8 | 715316 | スピンドル | 1 |
| 9 | 631420 | ばね座金 | 1 |
| 10 | 702559 | ピン | 1 |
| 11 | 703177 | ハンドル | 1 |
| 12 | 770494 | ニギリ | 1 |
| 13 | 830268 | ハンドルストッパー組立 | 1 |
| 14 | 703579 | ピン | 1 |
| 15 | 708314 | 本体 | 1 |
| 16 | 702020 | スプリング | 1 |
| 17 | 715315 | ガイド | 1 |
| 18 | 830483 | プランジャー組立 | 1 |
| 19 | 703180 | プランジャーバルブ | 1 |
| 20 | 627012 | ナット | 1 |
| 21 | 830269 | フートバルブ組立 | 1 |

## 6. 主要諸元

| 型式 | STB-50 | STB-60 | STB-70 |
|---|---|---|---|
| 製品番号 | 880134 | 880135 | 880136 |
| 全高 | 586mm | 795mm | 795mm |
| 質量 | 7.4kg | 11.3kg | 9.9kg |
| 油槽容量 | 20L | 20L | 20L |
| 付属品 | 695453　オイルホース(黒 2.0M)<br>ノズル付・・・・・・1 | 695453　オイルホース(黒 2.0M)<br>ノズル付・・・・・・・・・1<br>851003　キャリー組立・・・・・・・1<br>802570　流量計(フィルター付)・・・1 | 695453　オイルホース(黒 2.0M)<br>ノズル付・・・・・・1<br>851003　キャリー組立・・・・1 |
| オプション | 851003　キャリー組立<br>802570　流量計(フィルター付) | | 802570　流量計(フィルター付) |

### ポンプ性能(参考)

| 吐出量 ※ | ストローク | 使用オイル | 油温 | ホース |
|---|---|---|---|---|
| 40mL / ストローク | 50 mm | マシン油　#160 | 20℃ | 標準品を使用 |

※印は下記の条件によるノズル出口の値

## 7. 不具合内容 FAX シート

不具合･故障の原因を追求するために、及び修理サービスの充実を図るために必要となりますのでお手数ですが下記の FAX シートに必要事項を記入して、弊社営業所宛てに送信してください。

| 不具合内容 FAX シート | |
|---|---|
| フリガナ<br><br>貴社名 _____ | フリガナ<br><br>ご担当者名 _____ |
| フリガナ<br><br>ご住所 _____<br><br>_____ | <br><br>ご所属 _____<br>ご連絡先<br>Tel.　（　　）_____ー_____<br>Fax.　（　　）_____ー_____ |
| 製品名 | 型式 |
| 使用期間<br>20　　年　　月 ～　　年　　月 | SERIAL No.<br>（LOT No.） |
| 運転頻度　□連続<br>□断続　　hr／日･週･月 | 購入年月日<br><br>購入販売店 |
| 機器の状態（不具合の内容） | |

## 8. 保証規定

本機は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、納入日より１２か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

**1.保証期間**：製品を納入申し上げた日より起算して１２か月間といたします。

**2.保証内容**：期間中に、本機を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

**3.適用除外**：期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

(1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
(2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
(3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用されて生じた故障。
(4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
(5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
(6) パッキン、O リングなどの消耗部品の摩耗。
(7) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
(8) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
(9) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。
(10) 過度に摩耗性を有する材料や、本機に不適当な油脂を使用された場合の故障。
(11) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類　　・各種パッキン類　　・コード類

**4.補修部品**：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後５年とさせていただきます。製造打ち切り後５年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

**（控）**

| 型 式 | |
|---|---|
| 製 造 番 号 | |

| ご購入年月日 | |
|---|---|
| ご購入の販売店 | |

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。


## 株式会社ヤマダコーポレーション

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本社・営業部 | 〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号 | TEL (03) 3777-4101 (代) | FAX (03) 3777-3328 |
| 札幌営業所 | 〒062-0002 札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号 | TEL (011) 821-0630 (代) | FAX (011) 821-0949 |
| 仙台営業所 | 〒981-3137 宮城県仙台市泉区大沢 2 丁目 2 番 3 号 | TEL (022) 343-9410 (代) | FAX (022) 343-9411 |
| 東京営業所 | 〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号 | TEL (03) 3777-3171 (代) | FAX (03) 3777-6770 |
| 名古屋営業所 | 〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号 | TEL (052) 795-0222 (代) | FAX (052) 795-0444 |
| 大阪営業所 | 〒536-0021 大阪府大阪市城東区諏訪 1 丁目 2 番 20 号 | TEL (06) 6967-5301 (代) | FAX (06) 6967-0497 |
| 広島営業所 | 〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央 3 丁目 3 番 9 号 | TEL (082) 275-5852 (代) | FAX (082) 275-5853 |
| 福岡営業所 | 〒812-0888 福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号 | TEL (092) 581-5477 (代) | FAX (092) 581-6524 |

| | | |
|---|---|---|
| YAMADA AMERICA Inc. | 955 E.ALGONQUIN RD., ARLINGTON HEIGHTS, IL 60005,USA | TEL 1-847-631-9200 |
| YAMADA EUROPE B.V | Aquamarijnstraat 50-7554 NS Hengelo(O), The Netherlands | TEL 31-0-74-242-2032 |
| 雅玛达(上海)泵业贸易有限公司 | 上海市浦东新区祖冲之路 1500 号 12 号 | TEL 86-21-3895-3699 |


201507 900057